令和6年1月

第1回 つくば市農業委員会総会議事録

日 時 令和6年1月15日 午後1時30分

場 所 つくば市役所 コミュニティ棟3階 会議室A・B

出席委員

1番	柳下 浩一朗	2番	小川 充
3番	染谷 文夫	4番	櫻井 守
5番	雨貝 洋子	6番	白石 悟
7番	對崎 徳男	8番	大野 博司
9番	石島 繁	10番	加園 秀信
11番	吉田 新一	12番	青木 道子
14番	本橋 文男	15番	野堀 良夫
16番	飯島 孝一	17番	遠藤 道夫
19番	飯野 和男	20番	市村 元則
21番	蛭原 昇	22番	坂入 誠

欠席委員

13番 飯岡 勉

出席農業委員会事務局職員

農業委員会	事務局長	鳴海 秀秋
農業行政課	課長	天貝 雄一
農業行政課	課長補佐	飯泉 亮成
農業行政課	係長	今野 重彰
農業行政課	係長	廣引 康則
農業行政課	主査	大野 敏寿

1. 本日の会議に付した案件

日程第1 議事録署名委員の選任について

日程第2 議案第 1号 農地法第3条の規定による権利の設定・移転の許可について

議案第 2号 農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更の承認について

- 議案第 3号 農地法第5条の規定による権利の設定・移転の許可について
- 議案第 4号 現況証明の発行可否について
- 議案第 5号 農地改良協議に対する同意について
- 議案第 6号 農用地利用集積計画の決定について
- 議案第 7号 農用地利用集積計画の決定について（農地中間管理事業）
- 議案第 8号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画（案）に対する意見について
- 議案第 9号 農地法第5条の規定による許可の取消について
- 議案第 10号 非農地の決定について
- 議案第 11号 市民農園整備促進法第7条の規定による市民農園の開設の認定に係る決定について
- 日程第3 報告第 1号 農地法第3条の3の規定による届出について
- 報告第 2号 農地法第5条第1項第6号の規定による市街化区域内的の農地転用届出について
- 報告第 3号 農地法第4条の規定による制限除外の農地の移動届について
- 報告第 4号 農地法第18条第6項の規定による通知について
- 報告第 5号 農地等の現況に係る照会に対する回答について
- 報告第 6号 引き続き農業経営を行っている旨の証明について

【午後1時30分 開会】

事務局（鳴海事務局長）

本日は、お忙しい中、令和6年第1回農業委員会総会に御参集いただきまして、誠にありがとうございます。本年も、事務局一同、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

それでは初めに、飯野会長より御挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

会 長（飯野 和男）

どうも皆さんこんにちは。令和6年第1回の農業委員会総会を招集しましたところ、委員各位の御出席を賜りましてありがとうございます。

今年は、元旦から地震の騒ぎで、いろいろな不安があるような中でのスタートとなりましたけれども、つくば市でも1月3日から能登へ職員2名を派遣し、生活必需品や災害対応の支援を行っているというお話を聞いております。

私たちの地域では、大きな災害もなく新年を迎えることができました。昨年に引き続き、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、御苦勞様でございます。

事務局（鳴海事務局長）

ありがとうございました。

総会の議長につきましては、つくば市農業委員会会議規則第6条により会長が務めることになっておりますので、以降の議事進行を会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

開会の宣告

会 長（飯野 和男）

それでは、ただいまから令和6年第1回総会を開会いたします。

本日は傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま進めさせていただきます。

これより議事に入りますが、本日、議席13番飯岡 勉委員より欠席届が提出されておりますので、報告いたします。

本日の出席委員数は20名で、定足数に達していることから、令和6年第1回つくば市農業委員会総会は成立しております。

それでは、議事日程のとおり進めてまいります。

日程第1 議事録署名委員の選任について

議 長（飯野 和男）

まず、日程第1、議事録署名委員の選任を行います。つくば市農業委員会会議規則第25条第2項に規定する議事録署名委員ですが、議長から指名させていただくことに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので、議事録署名委員は、議席1番柳下浩一朗委員、議席2番小川 充委員にお願いいたします。

また、本日の会議書記は、事務局今野係長にお願いいたします。

日程第2に入る前に、発言についての注意事項を申し上げます。会議規則第14条の規定のとおり、発言するときは起立し「議長」と呼び、自分の氏名を告げ、議長の許可を得てから簡潔明瞭に発言してください。

日程第2 議案第1号 農地法第3条の規定による権利の設定・移転の許可について

議 長（飯野 和男）

それでは、日程第2、議案第1号 農地法第3条の規定による権利の設定・移転の許可についてを議題したいと思います。提出番号21番については、議案第3号 農地法第5

条の規定による権利の設定・移転の許可についての提出番号24番と関連する一体の事業であることから、議案第1号の審議から提出番号21番を除いて、議案第3号の審議と併せて議題とすることによろしいでしょうか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

それでは、日程第2、議案第1号 農地法第3条の規定による権利の設定・移転の許可についての提出番号21番を除いて議題といたします。

事務局の提案説明を求めます。

事務局（大野主査）

議案第1号について朗読する。（別紙議案書のとおり）

議長（飯野 和男）

ただいま事務局から説明がありましたが、各地区において調査を実施しておりますので、担当委員より調査結果の報告をお願いいたします。

まず、豊里地区分について、野堀委員、お願いいたします。

野堀良夫委員

去る1月10日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号1番については、申請者は農業を開始するため申請するもので、申請地にはイチゴを作付けする予定です。

提出番号2番については、申請者は芝を作付けしている農家で、申請地には芝を作付けする予定です。

提出番号3番については、申請者は水稻・野菜を作付けしている農家で、申請地には野菜を作付けする予定です。

提出番号4番については、大豆・牧草を作付けしている農地所有適格法人で、申請地には大豆を作付けする予定です。

提出番号1番から4番については、農機具等も確保しており、農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、谷田部地区分について、青木委員、お願いいたします。

青木道子委員

去る1月9日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号5番、12番については、同一申請人のため一括して説明いたします。

申請人は、主に芝を作付けしている農家で、申請地には芝を作付けする予定です。

提出番号6番、7番については、同一申請人のため一括して説明いたします。

申請人は、主に野菜を作付けしている農家で、申請地には野菜を作付けする予定です。

提出番号8番については、申請人は農業開始のため申請されたもので、申請地には野菜を作付けする予定です。

提出番号9番から11番については、同一申請人のため一括して説明いたします。

申請人は、主に野菜、芝を作付けしている農家で、申請地には芝を作付けする予定です。

提出番号13番については、野菜を作付けしている農家で、申請地には野菜を作付けする予定です。

提出番号14番については、野菜を作付けしている農家で、申請地には野菜を作付けする予定です。

提出番号15番については、申請人は水稲・野菜を作付けしている農家で、耕作利便のため交換するものです。

提出番号16番については、申請人は野菜を作付けしている農家で、耕作利便のため交換するものです。

提出番号17番については、申請人は農業開始のため申請されたもので、申請地には野菜を作付けする予定です。

以上のことから、提出番号5番から17番については、農機具等も確保しており、農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、大穂地区分について、飯島委員、お願いいたします。

飯島孝一委員

去る1月9日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号18番については、水稲と芝を作付けしている農家で、申請地には水稲と芝を作付けする予定です。

以上のことから、提出番号18番については、農機具等も確保しており、農地法第3条2項各号には該当しないため、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、筑波地区分について、遠藤委員、お願いいたします。

遠藤道夫委員

去る1月10日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号19番については、野菜を作付けしている農家で、申請地には野菜を作付けする予定です。

提出番号20番については、水稲・小麦・大豆を作付けしている農地所有適格法人で、申請地には水稲を作付けする予定です。

以上のことから、提出番号19番、20番については、農機具等も確保しており、農地法第3条第2項各号にも該当しないため、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、桜地区分について、市村委員、お願いいたします。

市村元則委員

去る1月11日に行った現地調査、並びに審議結果について報告します。

提出番号22番、23番については、同一申請人のため一括して説明いたします。

申請人は、水稲、野菜を作付けしている農家で、申請地には水稲を作付けする予定です。

以上のことから、提出番号22番、23番については、農機具等を確保しており、農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

以上で、議案第1号の説明及び報告が終わりました。

これより質疑に入ります。

質問、意見等ありましたらお願いいたします。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、議案第1号に対する質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第1号について、許可することに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第1号 農地法第3条の規定による権利の設定・移転の許可についての提出番号1番から21番、22番から23番について、許可することに決定いたします。

議案第2号 農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更の承認について

議長（飯野 和男）

次に、議案第2号 農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更の承認についてを議題といたします。

事務局の提案説明を求めます。

事務局（廣引係長）

議案第2号について朗読する。（別紙議案書のとおり）

議長（飯野 和男）

ただいま事務局より説明がありましたが、各地区において調査を実施しておりますので、担当委員より調査結果の報告をお願いいたします。

まず、豊里地区分について、野堀委員、お願いいたします。

野堀良夫委員

去る1月10日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号1番については、令和5年1月18日付けつくば農委指令第4号をもって建て売り住宅用地として許可を受けましたが、承継者が自己用住宅を建築すべく、承継を伴う事業計画変更申請をするものです。

提出番号2番については、令和5年1月18日付けつくば農委指令第4号をもって建て売り住宅用地として許可を受けましたが、承継者が自己用住宅を建築すべく、承継を伴う事業計画変更申請をするものです。

以上のことから、提出番号1番、2番については、承認しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で、報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、谷田部地区分について、青木委員、お願いいたします。

青木道子委員

去る1月9日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号3番については、令和4年9月13日付けつくば農委指令第35号をもって圏央道四車線化事業工事用地として農地法第5条の許可を受けましたが、工事期間の延長に伴い一時転用期間も延長するため、事業計画変更申請がなされたものです。

提出番号4番については、令和4年8月12日付けつくば農委指令第31号をもって圏央道四車線化事業に伴う仮設事務所として農地法第5条の許可を受けましたが、別の事業者が引き続き利用することになったため、承継に伴う事業計画変更申請がなされたものです。

以上のことから、提出番号3番、4番については、承認しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、荃崎地区分について、大野委員、お願いいたします。

大野博司委員

去る1月11日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号5番については、令和2年11月16日付けつくば農委指令第44号及び令和3年5月14日付けつくば農委指令第20号をもって、駐車場として農地法第5条の許可を受けましたが、研究施設に変更するため申請するものです。

以上のことから、提出番号5番については承認しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、桜地区分について、市村委員、お願いいたします。

市村元則委員

去る1月11日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号6番については、平成27年7月16日付けつくば農委指令第25号をもって農地法第5条の許可を受け、駐車場用地として申請地を取得しましたが、承継者は2世帯が居住できる共同住宅を建築するため、事業計画変更をするものです。

以上のことから、提出番号6番については承認しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

以上で、議案第2号の説明及び報告が終わりました。

続きまして、議案第2号の質疑に入ります。

質問、意見等ありましたらお願いいたします。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

質問、意見共がないようですので、これにて議案第2号に対する質疑を終結いたします。
これより採決いたします。
議案第2号について、承認することに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第2号 農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更の承認については、承認することに決定いたします。

議案第3号 農地法第5条の規定による権利の設定・移転の許可について

議案第1号 農地法第3条の規定による権利の設定・移転の許可について（提出番号21番）

議長（飯野 和男）

次に、議案第3号 農地法第5条の規定による権利の設定・移転の許可について及び議案第1号 農地法第3条の規定による権利の設定・移転の許可についての提出番号21番を一括して議題といたします。

事務局の提案説明を求めます。

事務局（大野主査）

議案第3号及び議案第1号の提出番号21番について朗読する。（別紙議案書のとおり）

議長（飯野 和男）

ただいま事務局から説明がありましたが、各地区において調査を実施しておりますので、担当委員より調査結果の報告をお願いいたします。

まず、豊里地区分について、野堀委員、お願いいたします。

野堀良夫委員

去る1月10日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号1番については、農地区分は第1種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、子供の成長に伴い手狭になってきたため、申請地を祖父より受贈し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号2番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、現在、親と同居しておりますが、独立した生活をすべく、申請地を母より借り受け、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号3番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、市内で土木建設業を営む法人です。今般、つくば市の公共工事を受注し、近隣に資材置場が必要になったことから、申請地を借り受け、資材置場用地として申請されたもので、許可日から令和6年8月31日までの一時転用です。

許可後の利用方法は、周囲をネットで囲い、一部を鉄板敷き、雨水は敷地内浸透処理とした上で、残土330m³、バックホー1台、砂、アスファルトガラ、砕石等を置く計画で、資金については自己資金で賄う予定です。

提出番号4番については、農地区分は第1種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号5番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号6番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

以上のことから、提出番号1番から6番については、一般基準を満たしており、第1種農地の例外許可規定及び第3種農地の許可基準に該当しますので、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、谷田部地区分について、青木委員、お願いいたします。

青木道子委員

去る1月9日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号7番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、市内で主に不動産業等を営む法人です。今般、新たに事業を拡大するため、申請地を借り受け、美容室用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号8番については、農地区分は第2種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、手狭になってきたため申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号9番については、農地区分は第2種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え、申請地を父より借り受け、自己用住宅用地として申請するものです。資金については、自己資金と金融機関からの融資

で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号10番については、農地区分は第2種と判断いたしました。

申請者は、現在、実家で親世帯と同居しておりますが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号11番については、農地区分は第1種と判断いたしました。

申請者は、現在、社宅住まいですが、家族が増え手狭になってきたことから、申請地を父より借り受け、自己用住宅用地として申請するものです。資金については、自己資金と金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号12番については、農地区分は第2種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号13番については、農地区分は第1種と判断いたしました。

申請者は、県外で建設業を営む法人です。

今般、圏央道の橋梁下部工事を施工するに当たり、仮設事務所の設置が必要になったことから、申請地を借り受け、仮設事務所用地として申請するもので、令和6年10月31日までの一時転用です。

許可後の利用方法は、周囲をフェンスで囲い、出入り口部分はアスファルト舗装、それ以外を砕石敷きとし、雨水は敷地内浸透処理とした上で、仮設事務所と12台分の駐車スペースを確保する予定です。資金については、自己資金で賄う予定です。

提出番号14番については、転用の必要性を説明する資料等、複数の書類が整わないことから、継続審議といたしました。

以上のことから、提出番号14番については継続審議。提出番号番から7番から13番については、一般基準に適合の上、第1種農地と第2種農地の例外許可規定及び第3種農地の許可基準に該当しますので、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、荃崎地区分について、大野委員、お願いいたします。

大野博司委員

去る1月11日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号15番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、県外に本店を置き、申請地と同一大字内で医薬品製造販売業を営む法人です。今般、新たに研究施設を建築するために既存の駐車場を資材置場として利用することになったことから、申請地を借り受け、駐車場用地として申請されたもので、令和9年9月30日までの一時転用です。

許可後の利用方法は、周囲をフェンスで囲い、全面砕石敷きとし、雨水は敷地内浸透処理とした上で、普通自動車 86 台分のスペースを確保する計画で、資金については自己資金で賄う予定です。

提出番号 16 番については、農地区分は第 3 種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、子供の成長に伴い手狭になってきたため、申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については、自己資金と金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号 17 番については、農地区分は第 3 種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については、自己資金と金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号 18 番については、農地区分は第 3 種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については、自己資金と金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

以上のことから、提出番号 15 番から 18 番については、一般基準に適合の上、第 3 種農地の許可基準に該当しますので、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、大穂地区分について、飯島委員、お願いいたします。

飯島孝一委員

去る 1 月 9 日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号 19 番については、農地区分は第 3 種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え、申請地を父より借り受け、自己用住宅用地として申請するものです。資金については、金融機関からの融資と自己資金で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号 20 番については、農地区分は第 2 種と判断いたしました。

申請者は、現在、母親の住宅に住んでおりますが、その住居は母が住むことになったため、申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については、金融機関からの融資と親族からの資金提供で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号 21 番については、農地区分は第 3 種と判断いたしました。

申請者は、県内に本店を置く、住宅の宅地分譲事業を行う法人です。先般、申請地の隣接地において宅地分譲を行い、顧客に販売しましたが、ごみ集積所の設置が必要となったことから、申請地を取得し、ごみ集積所用地として申請するものです。資金については自己資金で賄い、関係法令協議は整っております。

以上のことから、提出番号 19 番から 21 番については、一般基準を満たしております。

第2種農地の例外許可規定及び第3種農地の許可基準に該当しますので、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、筑波地区分について、遠藤委員、お願いいたします。

遠藤道夫委員

提出番号22番については、農地区分は第2種と判断いたしました。

申請者は、県外に本店を置く、太陽光発電事業を営む法人です。太陽光発電事業用地を探していたところ、適切な土地が見つかったため、申請地を取得し、太陽光発電施設用地として申請するものです。

なお、本申請については、電力の固定価格買取制度を用いず、小売電気事業を営む親会社に発電した電気を売電する計画となっております。

許可後の利用方法は、周囲をフェンスで囲い、敷地内を整地し、雨水は敷地内浸透処理とした上で、580Wパネルを108枚設置する計画で、資金については自己資金で賄う予定で、関係法令との協議は整っております。

以上のことから、提出番号22番については、一般基準に適合の上、第2種農地の許可基準に該当しますので、許可しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、桜地区分について、市村委員、お願いいたします。

市村元則委員

去る1月11日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号23番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号24番と議案第1号の提出番号21番については、営農型太陽光発電事業に係る一体の事業であることから、一括して説明します。

申請地は、農用地区域内農地ですが、申請者は、県外で太陽光発電事業を営む法人です。今般、営農型太陽光発電施設を設置すべく、議案第1号の提出番号21番については、区分地上権を設定するために農地法第3条の申請をするもので、提出番号24番については、発電設備の支柱部分について賃貸借権を設定するため、農地法第5条の一時転用をするもので、期間は許可日から3年間です。

また、下部農地については、県外に本店を置く農地所有適格法人がサカキを栽培する計画となっております。

許可後の利用方法は、275Wパネルを324枚設置し、遮光率は75.35%、最低地上高2.7m、最高地上高3.8mを確保する計画です。資金については自己資金で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号25番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、現在、親世帯と同居しておりますが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号26番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、将来のことを考え申請地を取得し、自己用住宅用地として申請するものです。資金については、自己資金及び金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

提出番号27番については、農地区分は第3種と判断いたしました。

申請者は、現在、借家住まいですが、高齢になる親世帯と一緒に暮らすため申請地を取得し、2世帯が同居できる共同住宅用地として申請するものです。資金については金融機関からの融資で賄い、関係法令協議は整っております。

以上のことから、議案第1号、提出番号21番については、農地法第3条第2項ただし書きの地上権であるため、許可しても差し支えないと思われま

す。また、提出番号23番から27番については、一般基準を満たしており、農用地区域内農地の例外許可規定及び第3種農地の許可基準に該当しますので、許可しても差し支えないと思われま

すが、なお一層各委員の御審議をお願いします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

以上で、議案第1号の提出番号21番及び議案第3号の説明及び報告が終わりました。

提出番号14番は、継続審議との報告がありましたので、継続審議分を先に審議いたします。

提出番号14番について、質問、意見等ありましたらお願いいたします。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、提出番号14番に対する質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

提出番号14番については、青木委員報告のとおり、継続審議とすることに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第 3 号、提出番号14番については、継続審議といたします。

続きまして、議案第 1 号の提出番号21番及び議案第 3 号の提出番号 1 番から13番、15番から27番について審議いたします。

質問、意見等ありましたらお願いいたします。

< 「なし」と呼ぶ者あり >

議 長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、これにて議案第 1 号の提出番号21番及び議案第 3 号の提出番号 1 番から13番、15番から20番に対する質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第 1 号の提出番号21番及び議案第 3 号の提出番号 1 番から13番、15番から27番については、許可することに異議ありませんか。

< 「異議なし」と呼ぶ者あり >

議 長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第 1 号の提出番号21番及び議案第 3 号の提出番号 1 番から13番、15番から27番については、許可することに決定いたします。

議案第 4 号 現況証明の発行可否について

議 長（飯野 和男）

次に、議案第 4 号 現況証明の発行可否についてを議題といたします。
事務局の提案説明を求めます。

事務局（廣引係長）

議案第 4 号について朗読する。（別紙議案書のとおり）

議 長（飯野 和男）

ただいま事務局の説明がありましたが、各地区において調査を実施しておりますので、担当委員より調査結果の報告をお願いいたします。

まず、豊里地区分について、野堀委員、お願いいたします。

野堀良夫委員

去る 1 月 10 日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号 1 番については、20 年以上前から宅地の一部として利用されており、現在も

同様の状況となっております。

以上のことから、提出番号1番については、非農地証明の範囲と認められることから、証明しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議 長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、谷田部地区分について、青木委員、お願いいたします。

青木道子委員

去る1月9日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号2番については、20年以上前から宅地として利用されており、現在も同様の状況となっております。

提出番号3番については、不耕作により山林状態であり、再生利用が困難な状況となっております。

以上のことから、提出番号2番、3番については、非農地証明の範囲と認められることから、証明しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議 長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、筑波地区分について、遠藤委員、お願いします。

遠藤道夫委員

去る1月10日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号4番については、20年以上前から境内地として利用されており、現在も同様の状況となっております。

以上のことから、提出番号4番については、非農地証明の範囲と認められることから、証明しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議 長（飯野 和男）

ありがとうございました。

続きまして、桜地区分について、市村委員、お願いいたします。

市村元則委員

去る1月11日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号5番については、不耕作により山林状態となっており、現在も同様の状況となっております。

以上のことから、提出番号5番については、非農地証明の範囲と認められることから、証明しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

以上で、議案第4号の説明及び報告が終わりました。

これより質疑に入ります。

質問、意見等ありましたらお願いいたします。

雨貝委員、お願いします。

雨貝洋子委員

大穂地区の雨貝です。提出番号2番について、御説明は頂戴しましたが、これは東京の方が宅地として平成2年から利用されているということですから、家屋が建築されていると思います。その場合、都市計画法の許可を得る必要があったと思いますが、それを得ずに建築されてしまったのでしょうか。

議長（飯野 和男）

事務局から回答をお願いします。

事務局（廣引係長）

事務局よりお答えいたします。

こちらの方ですが、都市計画法に関して許可履歴の確認は行っておりません。現在の土地所有者は東京在住の方となっておりますが、近年相続で土地を取得しております。

今般、申請者の親である前所有者は、生前にこちらと同じ大字に住んでおり、そちらの方が亡くなり相続で取得した土地を売却しようと考えたところ、登記地目が畑のままであったというところから、今回の申請が提出されたものと伺っております。

以上でございます。

議長（飯野 和男）

ただいまの説明でよろしいでしょうか。

雨貝洋子委員

ありがとうございました。説明はよく分かりますが、都市計画法をクリアもしていなかったとなったら、都市計画法の違反、農地法の違反もしていて、家屋が建っていたからということで簡単に非農地証明をできてしまっているのか。反対するわけではないのですが、やはり農業委員会としてその辺はどうなのでしょう。

議長（飯野 和男）

事務局から回答をお願いします。

事務局（天貝課長）

お答えいたします。

この非農地証明の発行の基準がございまして、その中で是正指導を受けていないものということがございます。違反はしているけれども是正指導を受けていないものに関しましては、非農地になってから20年が経過していれば発行してもいいということに事務処理要領上なっておりますので、今回発行しても問題ないという谷田部地区の意見になったかと思えます。よろしくお願いたします。

雨貝洋子委員

確かに正勧告のされていないということはよく分かりますけれども、今後、この案件に対してではなく、農業委員会として同様の申請案件に対して検討した方がよろしいのかなと思えます。

今後は都市計画法の違反の有無について、事前調査をしていただきたいと思えます。

議長（飯野 和男）

事務局から回答をお願いします。

事務局（天貝課長）

お答えいたします。

確かに、都市計画法の違反があるかないかというのは、大変重要なことであろうかと思えます。

ただ、現況証明は、単なる現況の事実証明でございまして、今後その土地に家を建築できるかどうか等は、都市計画法の開発許可を受けなければいけない事案もございましょうし、それが不要ない事案もあるかと思えます。

農業委員会の事務処理上は、その辺を含めて単なる事実の証明だということございまして、違反の是正指導を受けているかどうかというところが大変重要ではございますけれども、そこまで深く追求はしていないのが現状でございます。

その辺も含めて県の事務処理要領で定めてございまして、その辺を変えていくということは今後の検討課題ではないかなとも思えますけれども、現在は、その事務処理要領にのっとり、つくば市農業委員会も事務処理をしているというところでございますので、御理解をお願いしたいなと思えます。

雨貝洋子委員

ありがとうございました。以上になります。

議長（飯野 和男）

そのほかに何かございますか。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、これにて議案第4号に対する質疑を終結いたします。
これより採決いたします。
議案第4号について、証明発行可とすることに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第4号 現況証明の発行可否については、証明発行可とすることに決定いたします。

議案第5号 農地改良協議に対する同意について

議 長（飯野 和男）

次に、議案第5号 農地改良協議に対する同意についてを議題といたします。
事務局の提案説明を求めます。

事務局（大野主査）

議案第5号について朗読する。（別紙議案書のとおり）

議 長（飯野 和男）

ただいま事務局から説明がありましたが、各地区において調査を行っておりますので、担当委員より調査結果の報告をお願いいたします。
まず、荃崎地区分について、大野委員、お願いいたします。

大野博司委員

去る1月11日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号1番については、耕作利便性の向上を図るため、低地解消を目的とした盛土をするものです。羽成地内にある土を購入し盛土する計画で、盛土完了後はブドウを作付けする予定です。

以上のことから、提出番号1番については同意しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いします。

以上で報告を終わります。

議 長（飯野 和男）

ありがとうございました。
続きまして、大穂地区分について、飯島委員、お願いいたします。

飯島孝一委員

去る1月9日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号2番については、申請地に接道する市道が、つくば市発注による都市計画道路として工事施工が行われました。盛土がなされることになり、当該農地との間に高低差が生じてしまい、耕作に支障を来してしまうことから、低地解消を目的とした盛土をするものです。篠崎地内の公共工事で発生した建設残土を用いて盛土する計画で、盛土完了後は芝を作付けする予定です。

以上のことから、提出番号2番については同意しても差し支えないと思われませんが、なお一層の各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議 長（飯野 和男）

ありがとうございました。

以上で、議案第5号の説明及び報告が終わりました。

これより質疑に入ります。

質問、意見等ありましたらお願いいたします。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、これにて議案第5号に対する質疑を終結いたします。これより採決いたします。

議案第5号について、担当委員報告のとおり、同意することに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第5号 農地改良協議に対する同意については、原案のとおり同意することに決定いたします。

議案第6号 農用地利用集積計画の決定について

議案第7号 農用地利用集積計画の決定について（農地中間管理事業）

議 長（飯野 和男）

次に、議案第6号 農用地利用集積計画の決定について及び議案第7号 農用地利用集積計画の決定について（農地中間管理事業）を一括して議題としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

それでは、議案第6号及び第7号を一括して議題といたします。
事務局の提案説明を求めます。

事務局（廣引係長）

議案書20ページになります。

議案第6号 農用地利用集積計画の決定について及び議案第7号 農用地利用集積計画の決定、農地中間管理事業について、御説明いたします。

こちらは、市長より令和5年12月20日付けで農用地利用集積計画の決定を求められているものです。

提出番号1番、谷田部地区で5年間の賃借権を設定するものです。

以降、提出番号31番まで議案書記載のとおりとなり、谷田部地区3件、大穂地区26件、桜地区2件となります。

続きまして、議案書24ページ、議案第7号です。

提出番号1番、谷田部地区で10年間の賃借権を設定するものです。

以降、提出番号5番まで議案書記載のとおりとなり、谷田部地区3件、大穂地区2件となります。

以上で説明を終わります。

議 長（飯野 和男）

ただいま事務局の説明がありましたが、質問、意見等ありましたらお願いいたします。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、これにて議案第6号及び議案第7号に対する質疑を終結します。

これより採決いたします。

議案第6号及び議案第7号について、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第6号及び議案第7号の農用地利用集積計画について、原案のとおり決定いたします。

議案第8号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画（案）に対する意見について

議 長（飯野 和男）

次に、議案第8号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農

用地利用集積等促進計画（案）に対する意見についてを議題といたします。
事務局の提案説明を求めます。

事務局（大野主査）

それでは、議案書26ページになります。

議案第8号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集積等促進計画（案）に対する意見について、御説明いたします。

こちらは、市長より令和5年12月20日付けで農用地利用集積等促進計画案の意見を求められているものです。

整理番号1番、豊里地区で7年9か月間の賃借権の設定を行うものです。

以降整理番号5番までのとおりとなり、豊里地区3件、大穂地区2件となります。

計画案につきましては、茨城県農地中間管理機構の要請により、市が機構に提出するものです。

以上で説明を終わります。

議長（飯野 和男）

ただいま事務局の説明がありましたが、提出番号2番、3番については、議事参与の制限案件に該当しますので、これらを除いて審議いたします。

提出番号1番、4番、5番について、質問、意見等ありましたらお願いいたします。
どうですか、よろしいですか。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、これにて提出番号1番、4番、5番に対する質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

提出番号1番、4番、5番を、原案のとおり承認することに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第8号、提出番号1番、4番、5番について、原案のとおり異議なく承認することに決定いたします。

続きまして、提出番号2番、3番を審議願うわけですが、農業委員会等に関する法律第31条の規定により、染谷委員、大野委員、遠藤委員、市村委員の退席を求めます。

（染谷文夫委員、大野博司委員、遠藤道夫委員、市村元則委員 退席）

議長（飯野 和男）

それでは、提出番号2番、3番について、質疑に入ります。
質問、意見等ありましたらお願いします。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

質問、意見共がないようですので、これにて提出番号2番、3番に対する質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

提出番号2番、3番を、原案のとおり承認することに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第8号、提出番号2番、3番について、原案のとおり異議なく承認することに決定いたします。

染谷委員、大野委員、遠藤委員、市村委員の復席を求めます。

（染谷文夫委員、大野博司委員、遠藤道夫委員、市村元則委員 復席）

議案第9号 農地法第5条の規定による許可の取消について

議長（飯野 和男）

次に、議案第9号 農地法第5条の規定による許可の取消についてを議題といたします。
事務局の提案説明を求めます。

事務局（廣引係長）

議案第9号について朗読する。（別紙議案書のとおり）

議長（飯野 和男）

ただいま事務局より説明がありましたが、谷田部地区において調査を実施しておりますので、青木委員より調査結果の報告をお願いいたします。

青木道子委員

去る1月9日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。

提出番号1番について説明いたします。

願出人である譲受人は、自己用住宅用地とすべく、令和5年12月13日付で農地法第5条の許可を受けましたが、計画を取りやめたため、譲渡人と連名で許可の取消しを願い出るものです。

現地を確認したところ、許可時の状況と変わりなく、土地の登記も変更がないことから、許可の取消しをしても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

以上で、議案第9号の説明及び報告が終わりました。

質問、意見等ありましたらお願いいたします。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、これにて議案第9号に対する質疑を終結いたします。これより採決いたします。

議案第9号について、許可を取り消すことに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第9号 農地法第5条の規定による許可の取消については、許可を取り消すことに決定いたします。

議案第10号 非農地の決定について

議長（飯野 和男）

次に、議案第10号 非農地の決定についてを議題といたします。

事務局の提案説明を求めます。

事務局（今野係長）

それでは、議案書33ページになります。

議案第10号 非農地の決定について、御説明いたします。

農地法第30条の規定に基づき、農地利用状況調査を実施した結果、再生利用が困難な農地として分類した土地の所有者の方に、登記地目変更承諾書を事務局から発送いたしました。承諾を頂いた土地4筆、計2,704㎡を、農地法第2条第1項の農地に該当しないと決定するものです。

こちらについて、御審議のほどよろしくお願いいたします。

以上で説明を終わります。

議長（飯野 和男）

ただいま事務局の説明がありました。
これより質疑に入ります。
質問、意見等ありましたらお願いいたします。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、これにて議案第10号に対する質疑を終結いたします。
これより採決いたします。
議案第10号について、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議 長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第10号 非農地の決定については、
原案のとおり農地に該当しないことを決定いたします。

議案第11号 市民農園整備促進法第7条の規定による市民農園の開設の認定に係る決定に
ついて

議 長（飯野 和男）

次に、議案第11号 市民農園整備促進法第7条の規定による市民農園の開設の認定に係
る決定についてを議題といたします。
事務局の提案説明を求めます。

事務局（大野主査）

それでは、議案書34ページになります。
議案第11号 市民農園整備促進法第7条の規定による市民農園の開設の認定に係る決定
について、御説明いたします。
豊里地区において、新たに市民農園の開設に当たって、市民農園整備促進法第7条の規
定により、認定の決定を求められているものでございます。
以上で説明を終わります。

議 長（飯野 和男）

ただいま事務局から説明がありましたが、豊里地内において調査を実施しておりますの
で、野堀委員より調査結果の報告をお願いいたします。

野堀良夫委員

去る1月10日に行った現地調査、並びに審議結果について報告いたします。
申請地は、つくばエクスプレス研究学園駅から北西へ約3kmに位置し、農地、宅地、雑

種地を含んだ計7筆で3,548.45㎡です。

申請者は、市内に在住している個人で、周辺農地で市民農園開設の要望が多いことから、新たに市民農園を開設するため申請されたものです。

市民農園の利用方法は、1区画10㎡を98区画及び1区画5㎡を134区画設置し運営する計画で、募集、利用方法、貸付期間等の内容についても問題ありません。

また、農地転用をする部分については、休憩施設1棟を建築し、雨水については敷地内浸透処理とした上で、普通自動車10台分の駐車スペース並びにごみ集積所を整備する計画です。

以上のことから、市民農園整備促進法第7条第3項の各号に該当するため、原案のとおり決定しても差し支えないと思われませんが、なお一層各委員の御審議をお願いいたします。

以上で報告を終わります。

議長（飯野 和男）

ありがとうございました。

以上で、議案第11号の説明及び報告が終わりました。

質問、意見等ありましたらお願いいたします。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、これにて議案第11号に対する質疑を終結いたします。これより採決いたします。

議案第11号について、野堀委員報告のとおり、決定することに異議ありませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

異議なしの声がありましたので異議なしと認め、議案第11号について、原案のとおり決定いたします。

議長（飯野 和男）

次に、日程第3、報告第1号から第6号についてですが、内容は議案書35ページから56ページまでに記載のとおりですので、説明は省略いたします。

報告第1号から第6号について、質問等はございませんか。

<「なし」と呼ぶ者あり>

議長（飯野 和男）

質問、意見共にないようですので、報告案件を終了いたします。

以上で、議案の審議並びに報告事項は全て終了いたしました。

その他

議長（飯野 和男）

その他の報告ですが、来年度実施する農地再生チャレンジ事業について、遊休農地対策専門委員会の本橋委員長より報告をお願いいたします。

本橋文男委員

遊休農地対策専門委員会から報告いたします。

昨年12月27日に専門委員会を開催し、今年度の農地再生チャレンジ事業の実施場所について協議いたしました。

具体的な場所については、机上に配付した資料のとおりで、大穂地区、玉取1854番、面積は約37aで、地権者は1名でございます。

今後、農地チャレンジ、ジャガイモの栽培管理計画につきまして、詳細がまとも次第、御報告いたします。

農業委員及び推進委員の皆様には、今後の農地管理や収穫作業等に御協力よろしく願いいたします。

遊休農地対策専門委員会からの御報告です。以上となります。

議長（飯野 和男）

柳下委員、お願いします。

柳下浩一朗委員

豊里地区の柳下です。地域計画について、私も心配なことがあるので何か御説明いただければと思いますが、令和7年3月までに地域計画を策定しますということで、これはつくば市が策定するということだと、農業委員会が策定するというこの意味なのか。

議長（飯野 和男）

事務局から回答をお願いします。

事務局（天貝課長）

地域計画は市が策定するという事になってございまして、つくば市の農業政策課で現在進めているところで、その計画に附属する目標地図の素案は農業委員会で作成することになっています。

柳下浩一朗委員

これが現地調査時にも話題になっていて、皆さんも感じると思いますが、今後は荒廃した農地が増えていくと思います。まさしく、そのためにこの法律が変わって、この計画をきちんと決めていくということですが、結局はやっぱり話し合いをしないと変わらないと思

います。

現在、個人で困っている方たちは、荒廃したままになって、中間管理制度の活用を促しても、なかなかうまくいかないというのは、やはりその地域は地域で話さないことには地域の未来像というのはできないと思います。今後は区会ごとに話し合いをすることがとても大事だと思います。

地域計画の策定までのロードマップみたいなのがあったほうが分かりやすくいいと思いますが、なかなかやっぱり難しいのでしょうか。農業政策課ということになると、こことは違うかもしれませんが、よろしくお願いします。

事務局（天貝課長）

今、柳下委員さんから御意見いただきましたけれども、地域計画につきましては、ある程度、来年の3月までに作るということで動いておりますので、ロードマップといいますが、流れは予定として作成している状況ではあります。

そんな中で、今月24日に座談会を豊里地区で開催するというので、今回の座談会は畑作農家も含めて行うということでございますので、将来10年後の各地域の担い手さんをどのようにしていくか、そういったことも含めて話し合いをするということになってございます。座談会は、最適化推進委員さんを含めて、農業委員さんにも担い手として参加要請が来ているかと思っておりますので、そういった場で御意見を言っていただければというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

議長（飯野 和男）

そのほか何かございますか。

対崎委員、お願いします。

対崎徳男委員

豊里地区の対崎です。総会終了後の貴重なお時間を少し頂きまして。冒頭の会長の挨拶からもあったように、元旦早々から本当に痛ましい震災がありました。私も、個人的に何かできないかということで寄附ですとか、そういったものも考えているのですが、農業委員会としても、現地では恐らく農地もたくさん被害を受けていることかと思えます。農業委員会で毎月積立てをされている中からですとか、もし可能であれば1人1,000円ずつくらい出しても、本当に気持ち程度にはなるとは思いますが、義援金として、被災に遭われた石川の農業会議さんとかに寄附とかというのはできるかどうかというのを事務局にお伺いしたいと思います。

議長（飯野 和男）

事務局から回答をお願いします。

事務局（天貝課長）

事務局のほうから、今、対崎委員さんから御意見があった件ですが、義援金の話でございますけれども、全国農業会議所から茨城県農業会議を通じて、各農業委員会組織に義援

金の要請が来てございます。先ほど對崎委員さんのほうから、1人1,000円ぐらいでというお話もございましたけれども、その辺を含めて、今月末の運営委員会のほうで協議をさせていただきたいと事務局では考えております。

對崎徳男委員

ありがとうございました。

閉会の宣告

議 長（飯野 和男）

以上をもちまして、令和6年第1回総会を閉会いたします。

【午後3時05分 閉会】

議 長

農業委員会委員

農業委員会委員